

N

F

C

## NFC CALENDAR

大ホール(2階)

DEFA70周年  
知られざる東ドイツ映画

DEFA 70th Anniversary: Tracing the East German Cinema

2016年11月29日(火) - 12月25日(日)

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター

DEFA財団

ドイツ・キネマテーク

協力: 東京ドイツ文化センター

山根恵子(法政大学名誉教授)



12月の休館日:

月曜日、12月27日(火) - 2017年1月3日(火)

大ホール

各回の開映後の入場はできません。

定員=310名(各回入替制)

料金: 一般520円 / 高校・大学生・シニア310円 / 小・中学生100円 / 障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

発券=2階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切ります。
- 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示ください。
- 発券は各回1名につき1枚のみです。

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center  
The National Museum of Modern Art, Tokyo

長瀬映像文化財団

フィルムセンターは長瀬映像文化財団の支援を受けています。



DEFA 70th Anniversary: Tracing the East German Cinema

DEFA70周年  
知られざる東ドイツ映画

旧東ドイツ唯一の公式映画製作機関として、1946年から1990年までの間に7000本以上の劇映画、アニメーション、ドキュメンタリーやニュース映画を製作したDEFA (Deutsche Film Aktiengesellschaft)。DEFAは、1912年に活動を開始したヨーロッパでもっとも古いバベルスベルク撮影所を拠点に戦前ドイツの映画美術や技術を継承し、個性的で豊かな映画文化を育みきました。フィルムセンターでは、DEFA創設70周年にあたる本年、日本で初めての本格的なDEFA回顧上映を開催します。ネオレアリズモやヌーヴェル・ヴァーグの影響を受けた作品群から、アグファカラーの色彩を活かした童話映画やミュージカル、さらには西部劇、アニメーション、ドキュメンタリー、そして検閲で封印された「禁止映画」など、多様なジャンルの作品を通して、旧東ドイツの社会と文化に触れるとともに、「もう一つのドイツ映画」をお楽しみください。

2016

12

NFCカレンダー  
2016年12月号



**DEFA70周年**  
知られざる東ドイツ映画  
DEFA 70th Anniversary:  
Tracing the East German Cinema

- 監=監督 ◎=原作・原案 ●=脚本・脚色 ●=撮影
- =美術 ◎=音楽 ⊕=出演 ●=解説・ナレーション
- 特集には不完全なプリントが含まれていることがあります。
- 上映作品にはすべて日本語字幕が付いています。
- 記載した上映分数は、当日のものとは多少異なることがあります。

**DEFA (Deutsche Film Aktiengesellschaft)**

1946年から1990年の東ドイツ(ドイツ民主共和国)終焉まで続いた東ドイツの映画製作機関。ポツダム=バーベルスベルクの撮影所を継承し、当初はソヴィエトに統制されていたが、1949年の東ドイツ成立を経て、1953年に国営企業となった。1990年以後、撮影所は民間企業の所有となり、DEFAの映画資産はDEFA財団が管理。

**1 11/29(水)3:00pm 12/10(土)1:00pm**

**殺人者は我々の中にいる**

(84分・DCP・白黒)

**DIE MÖRDER SIND UNTER UNS**

戦後初のドイツ映画でDEFA第1回作品。戦前からの監督W・シュタウテが、脚本への支援を占領国で唯一表明したソ連領で撮影。ネオレアリズモとの類似やナチス否定は同時期のDEFA映画の特徴となった。収容所から生還したスザンネ(クネフ)が戦争のトラウマを抱えた医師(ボルヒェルト)と出会う…。

1946(DEF) ●ヴォルフガング・シュタウテ ●フリーデル・ペーン ●グレンツ、オイゲン・クラウゲマン ●オットー・フンテ、ブルーノ・モンデン ●エルンスト・ローター ●ヒルデガルト・クネフ、ヴィルヘルム・ボルヒェルト、エルナ・セルメル、ローベルト・フォルシュ、アルノー・パウエルセン

**2 12/13(水)3:00pm 12/23(金)1:00pm**

**冷たい心臓**(104分・DCP・カラー)

**DAS KALTE HERZ**

DEFA初の童話映画で初のカラー作品(アグファ)。貧しい炭坑の若者(モイク)が、愛する娘(ルッカー)との結婚資金を欲しつつも、黒い森に住む精霊に祈って得た富を使い果たし、悪い精霊と取り引きをする。1951年カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭最優秀カラー映画賞を受賞し、興行的にも大成功をおさめた。

1950(DEF) ●ハウル・フェアヘーフェン ●ヴィルヘルム・ハウフ ●ヴォルフ・フォン・ゴードン、マリリーゼ・シュタインハウアー ●色彩技術ブルーノ・モンディ ●特殊撮影エルンスト・クンストマン ●エーミール・ハスラー ●ヘルベルト・トラントウ ●ルッツ・モイク、ハンナ・ルッカー

**3 11/29(水)7:00pm 12/11(日)1:00pm**

**臣下**(109分・DCP・白黒)

**DER UNTERTAN**

原作はハインリヒ・マンの同名小説。第一次大戦前のドイツのブルジョワ社会と国粋主義の浸透を痛烈に批判した風刺劇。ドイツ帝国の時代、工場主の息子(ペーター)が皇帝への崇拜心を強めながら町の有力者にのしかがっていく。1951年カルロヴィ・ヴァリ国際映画祭「社会進歩への闘い」賞受賞。

1951(DEF) ●ヴォルフガング・シュタウテ ●ハインリヒ・マン ●フリッツ・シュタウテ ●ローベルト・バーベルス ●エーリヒ・ツァンダー、カール・シュナイダー ●ホルスト・ハンス・ジーバー ●ヴェルナー・ペーター、エドワード・フォン・ヴィンターシュタイン、パウル・エッサー

**4 11/30(木)3:00pm 12/6(水)7:00pm**

**小さなムックの物語**(100分・DCP・カラー)

**DIE GESCHICHTE VOM KLEINEN MUCK**

ドイツで最も愛されている童話を映画化。童話映画は、DEFAを代表する映画ジャンルであり、東欧諸国を中心に世界中に輸出され、大きな人気を博した。小さなムック(マウス)の語る「千夜一夜物語」的なイスラム世界が、鮮やかなアグファカラーの色彩とウーファ時代の流れを継ぐ特殊効果によって、楽しく創造されている。

1953(DEF) ●ヴォルフガング・シュタウテ ●ヴィルヘルム・ハウフ ●ペーター・ポーター ●ローベルト・バーベルス ●エーリヒ・ツァンダー ●エルンスト・ローター ●特殊効果エルンスト・クンストマン ●トーマス・シュミット、ヨハネス・マウス、フリードリヒ・リヒター

**5 12/4(日)1:00pm 12/8(木)7:00pm**

**ベルリン シェーンハウザーの街角**

(83分・DCP・白黒)

**BERLIN - ECKE SCHÖNHAUSER**

ベルリンを舞台にロケーション撮影を駆使して若者の日常を描いた、G・クライン監督とW・コールハーゼのコンビ作の一本。親世代や権威に反抗心を抱く若者たちが、西側商品の闇取引やダンスに汗をかく日々を送るが、そのうち歯車があずれていく…。政府当局から睨まれながらも、若者の支持により大ヒットした。

1957(DEF) ●ゲアハルト・クライン ●ヴォルフガング・コールハーゼ ●ヴォルフ・ゲーテ ●オスカー・ビエチュ ●ギュンター・リュック ●エックハルト・シャル、イルゼ・バージェ、ハリー・エンゲル、エルンスト・シュヴィル

**6 12/14(水)7:00pm 12/24(土)1:00pm**

**金星ロケット発進す**(94分・DCP・カラー)

**DER SCHWEIGENDE STERN**

ポーランドとの合作による大作で、DEFA初のSF映画。日本でも61年に公開された。原作はS・レムの最初のSF小説。西欧のSF映画と同様に原子力への恐怖が語られるが、世界各国の乗組員が一致団結して金星調査を敢行するさまは、共産圏ならではの理想に溢れている。谷洋子は『風は知らない』(1958、ラルフ・トーマス)等で国際的に活躍した。

1960(DEF) ●フィルム・ボルスキー ●イリュージョン ●クルト・メーツヒ ●スタニスワフ・レム ●ヤン・フェトク、ヴォルフガング・コールハーゼ、ギュンター・ライシュ、ギュンター・リュッカー、アレクサンダー・ステンボック ●ファーマ ●ヨアヒム・ハスラー ●アルフレート・ヒルシュマイヤー、アナトール・ラジノヴィチ ●アンジェイ・マルコフスキ ●谷洋子、オールドリッチ・ルークス、イグナチ・マホフスキ

**7 12/1(木)3:00pm 12/10(土)4:00pm**

**裸で狼の群のなかに**(124分・DCP・白黒)

**NACKT UNTER WÖLFEN**

F・バイヤーの初期代表作で、原作はブーヘンヴァルト強制収容所の実話を基にした同名小説。初めて強制収容所の生活を描いたドイツの劇映画で、同収容所跡で撮影され、出演者の多数が捕虜経験者。鞆に隠されて収容所に入ってきたユダヤ人の子供をめぐる人間ドラマ。1963年モスクワ国際映画祭銀賞受賞。日本でも64年に公開された。

1963(DEF) ●フランク・バイヤー ●ブルーノ・アーピッツ ●ギュンター・マルチンコフスキ ●アルフレート・ヒルシュマイヤー ●ヨアヒム・ヴェルツラウ ●エルヴィン・ゲシヨネック、フレッド・テルマーレ、クリスティン・ヴィチック、アルミン・ミュラー ●シュテール、ゲリー・ヴォルフ

**8 12/13(水)7:00pm 12/21(木)3:00pm**

**金のがちょう**(68分・DCP・カラー)

**DIE GOLDENE GANS**

日本でもよく知られた、グリム童話の名作を映画化。二人の兄から愚か者扱いされているクラウス(アイヒェル)は、老女を助けたお礼に黄金のガチョウをもらうが、そのガチョウに欲得ずくで触れる者は皆、次々と手がくっつき、大行列がで始める…。楽しい歌と芝居に満ちた喜劇。

1964(DEF) ●ジークフリート・ハルトマン ●ギュンター・カルトフェン、グートルン・ラムラー、マルゴット・バイヒラー ●カール・プリンツナー ●ハンス・ヨルク・ミル ●ジークフリート・ベトマン ●カスパー・アイヒェル、カリーン・ウゴフスキ、ウヴェ・デトレフ・イェセン、ペーター・ドミシュ

**9 12/17(土)1:00pm 12/22(木)7:00pm**

**引き裂かれた空**(114分・DCP・白黒)

**DER GETEILTE HIMMEL**

クリスタ・ヴォルフの同名小説の映画化。ドイツ分断のテーマを扱い、東ドイツではプレミア上映後に上映禁止となった。ヌーヴェル・ヴァーグの影響も指摘され、ベルリンの壁が建設される前に出会った女子学生(ブルーメ)と化学者(エッセン)の恋の行方が、ジャズ音楽と硬質な白黒映像で綴られる。

1964(DEF) ●コンラート・ヴォルフ ●クリスタ・ヴォルフ ●ゲアハルト・ヴォルフ、ヴィリ・ブリュクナー、クルト・バルテル ●ヴェルナー・ベルクマン ●アルフレート・ヒルシュマイヤー ●ハンス・ディーター、ホサラ ●レナーテ・ブルーメ、エーベルハルト・エッジェ

**10 12/3(土)0:30pm 12/7(木)7:00pm**

**君が大人になったら、アダム**

(74分・DCP・カラー)

**WENN DU GROSS BIST, LIEBER ADAM**

撮影中に製作中止され、反体制的とされた台詞の音声トラックが消されるなど部分的に破壊された作品。1990年に復元・公開され、欠落部分は説明文や台詞のテキスト挿入や再録音で補完。少年が白鳥からもらった不思議な懐中電灯でおこす一騒動を描く。劇中で読まれる本はプロテュノスの『エネアデス』。

1965/1990(DEF) ●エーゴン・ギュンター ●ヘルガ・シュツツ、トゥラウドゥル・キューン ●ヘルムート・グレーヴァルト ●アルフレート・ヒルシュマイヤー ●クルト・ツァンダー ●シュテファン・ヤーニケ、ゲリー・ヴォルフ、ヴォルフガング・グリーゼ、ハンス・アンゼルトム・ベルテン

**11 12/3(土)4:00pm 12/9(金)3:00pm**

**石の痕跡**(139分・DCP・白黒)

**SPUR DER STEINE**

東ドイツで記録的ベストセラーとなった同名小説の映画化。プレミア上映後に検閲で上映禁止となり、23年間封印された。建築現場の親分肌の労働者(クルーク)と党の書記官(エッシェ)、女技師(スティブルコフスカ、声はユッタ・ホフマン)の三角関係が、滑稽味とリアルな生活描写との絶妙な語り口で展開。

1966(DEF) ●フランク・バイヤー ●エーリク・ノイチ ●カール・ゲオルク・エーゲル ●ギュンター・マルツィンコフスキ ●ハラルト・ホルン ●ヴォルフラーム・ハイキング、ハンス・クンツェ ●マンフレート・クルーク、クリスティン・スティブルコフスカ、エーベルハルト・エッジェ

**12 12/4(日)4:00pm 12/9(金)7:00pm**

**45年生まれ**(95分・DCP・白黒)

**JAHRGANG 45**

画家でドキュメンタリー作家のJ・ベトヒャーが撮った唯一の劇映画。完成前に禁止映画となり、1990年に完成・公開された。詩的な美しさが高く評価されている。東ベルリンに住む離婚寸前の若い夫婦、アルフレート(レーマー)とリザ(ヒルデブランド)の日常生活と心の機微を、シネマヴェリテ的な表現で淡々と描く。

1966/1990(DEF) ●ユルゲン・ベトヒャー ●クラウス・ポット、クリステル・グレイフ ●ローラント・グレイフ ●ハリー・ロイボルト ●ヘンリー・パーセル、ヴォルフ・ビーアマン、マイヤス・ズーシェ ●モニカ・ヒルデブランド、ロルフ・レーマー、パウル・アイヒバウム、ホルガー・マリーヒ

**13 12/16(金)7:00pm 12/24(土)4:00pm**

**チンガツハグーケー大蛇と呼ばれた男**

(91分・DCP・カラー)

**CHINGACHOOK, DIE GROSSE SCHLANGE**

娯楽性と政治的寓意が融合したDEFAの西部劇の中でも、「DEFAインディアン」の首長」と称される大スター、G・ミティッチ主演の「インディアン映画」の代表作。原作は「モヒカン族の最後」で知られるJ・F・クーバーの「鹿殺し」。R・グロショップ監督は戦前のアマチュア映画出身で『オリンピア』(1938、レーニ・リーフェンシュタール)の撮影も手がけた。

1967(DEF) ●リヒャルト・グロショップ ●ジェイムズ・フェニモア・クーパー ●ヴォルフガング・エーベリング、ギュンター・カール ●オットー・ハーニッシュ ●パウル・レーマン ●ヴィルヘルム・ネーベ ●ゴイコ・ミティッチ、ロルフ・レーマー、ヘルムート・シュライパー、ユルゲン・フロリーフ



引き裂かれた空  
©DEFA-Stiftung, Werner Bergmann

14 12/17(土)4:00pm 12/21(水)7:00pm

僕は19歳だった(119分・DCP・白黒)

ICH WAR NEUNZEHN

DEFAのみならず、戦後ドイツ映画においても重要な作品の一つ。K・ヴォルフの実体験に基づく映画で、第二次大戦末期、赤軍がベルリンへと進攻する中、ドイツ生まれの19歳の赤軍兵士グレゴール(シュヴァルツ)が経験する出来事を通じて、ドイツおよびドイツ人が問い直されていく。赤軍によるドイツ人女性への強姦を示唆する描写など、タブーとされてきた主題にも挑んだ。

1968(DEFA)◎コンラート・ヴォルフ◎ヴォルフガング・コールハーゼ◎ゲアハルト・ヴォルフ◎ヴェルナー・ベルクマン◎アルフレート・ヒルシュマイヤー◎ジャッキ・シュヴァルツ◎ヴァシリー・リヴァノフ◎アレクセイ・エイボシエンコ

15 12/15(木)3:00pm 12/23(金)4:00pm

暑い夏(95分・DCP・カラー)

HEISSER SOMMER

『冷たい心臓』を初めとするカラー映画の撮影部だったJ・ハスラー監督が、60年代半ばから手がけたエンターテインメント映画の代表作。東ドイツ版『グリース』と称され、主役のC・デルクが快活に歌う、ドイツでカルトの人気ミュージカル。12人の少女と11人の少年がバルト海で夏休みを満喫。

1968(DEFA)◎ヨアヒム・ハスラー◎マウリシ・ヤノフスキ◎ディーター・シャルフェンベルク◎ローラント・ドレツェル◎アルフレート・トレグゲルト◎ナチンスキ◎トーマス・ナチンスキ◎クリス・テルク◎フランク・シエベル◎レギーネ・アルブレヒト◎ハンス・ミヒャエル・シュミット

16 11/30(水)7:00pm 12/8(木)3:00pm

パウルとパウラの伝説

(106分・DCP・カラー)

DIE LEGENDE VON PAUL UND PAULA

ドキュメンタリー出身のH・カーロウが、ホーネッカー政権樹立後の自由化政策を背景に、子持ちの男女の激しい恋をポップに描いたDEFA史上に残るヒット作。主演男女優の西ドイツへの亡命後、上映禁止となった。東ドイツのロックバンド、ブディーズは、本作を機に人気を博し、後に東ドイツ国家賞を受賞。

1973(DEFA)◎ハイナー・カーロウ◎ウルリヒ・ブレンツドルフ◎アンネ・プフォイファー◎ユルゲン・ブラウアー◎ハリー・ロイボルト◎ペーター・ゴットハルト◎アンゲリカ・ドムラーゼ◎ヴィンフリート・グラットツェーダー◎ハイデマリー◎ヴェンツェル、フレッド・デルマーレ

17 12/14(水)3:00pm 12/25(日)4:00pm

灰かぶり姫の三つの願い

(86分・DCP・カラー)

DREI HASELNÜSSE FÜR ASCHENBRÖDEL (TRÍ ORÍŠKY PRO POPELKU)

近代チェコ語文学の祖の一人であるB・ニュムツォヴァーによる「シンデレラ(灰かぶり)」物語を、旧チェコスロヴァキアとの合作により映画化。弓馬に長け、自ら王子の心を射止める利発なヒロイン像が印象的で、ドイツでは長くクリスマスのテレビ番組の定番として知られていた。旧チェコスロヴァキア人俳優たちの声は、ドイツ語に吹き替えられている。

1973(DEFA=パランドフ撮影所)◎ヴァーツラフ・ヴォルリーチェク◎ボジェナ・ニュムツォヴァー◎ボフミラ・ゼレンコヴァ◎マルセラ・ピッターマン◎ヨゼフ・イリク◎アルフレート・トーマラ◎オリン・ボサーク◎カレル・スヴォボダ◎リプシェ・サフランコヴァ◎パヴェル・トラウヴェーニェク◎カロラ・ブラウンボック

18 12/1(木)7:00pm 12/7(水)3:00pm

嘘つきヤコブ(100分・DCP・カラー)

JAKOB DER LÜGNER

『石の痕跡』後、舞台やテレビで活動していたF・バイヤーの劇場映画復帰作。ゲッターで暮らすヤコブ(プロツキー)は、警察で聞いたラジオ放送を仲間にも漏らし、嘘を重ねる状況に…。アカデミー外国語映画賞にノミネートされた唯一のDEFA作品で、日本でも83年に公開された。原作は1999年にもハリウッドでロビン・ウィリアムズ主演で再映画化された。

1974(DEFA=ドイツ民主共和国テレビ放送)◎フランク・バイヤー◎ユルク・ベッカー◎ゲルト・ゲーリッゲ◎ギュンター・マルツィンコフスキ◎アルフレート・ヒルシュマイヤー◎ヨアヒム・ヴェルツラウ◎ヴラスチル・プロツキー◎エルヴィン・ゲシヨネック◎ヘンリー・ヒュブヒエン

19 12/15(木)7:00pm 12/20(水)3:00pm

ソロシンガー(104分・DCP・カラー)

SOLO SUNNY

東ドイツで最も尊敬される監督K・ヴォルフの最後の劇映画。1980年ベルリン国際映画祭最優秀女優賞など数々の国際的評価を得、日本でも83年に公開。実話をもとに脚本を書いたW・コールハーゼが共同監督。ドサ回りの女性歌手(クレスナー)の孤独な生き様を、老朽化が放置された都市の情景と共に描く。

1980(DEFA)◎コンラート・ヴォルフ◎ヴォルフガング・コールハーゼ◎ディーター・ヴォルフ◎エーバーハルト・ガイク◎アルフレート・ヒルシュマイヤー◎ギュンター・フィッシャー◎レナーテ・クレスナー◎アレクサンダー・ラング◎ハイデ・キップ◎ディーター・モンターク

20 12/2(金)3:00pm 12/11(日)4:00pm

冬よ さようなら(117分・DCP・白黒)

WINTER ADÉ

「壁」崩壊直前の東ドイツに生きる、さまざまな境遇の女性たちをとらえたドキュメンタリー。女性監督H・ミッセルヴィッツの出世作で、カメラの前で自分の人生を率直に語る彼女たちの言葉は苦労や後悔に満ち、社会主義の説く男女平等の理想に対する鋭い批判となっている。1988年ライブツィヒ国際ドキュメンタリー・アニメーション映画週間(DOKライブツィヒ)「銀の鳩」賞受賞。

1988(DEFA)◎ヘルグ・ミッセルヴィッツ◎グートルン・プレーネルト◎ベルント・ブルクハルト◎トーマス・プレーネルト◎マリオ・ペーター

21 12/2(金)7:00pm 12/6(水)3:00pm

カミング・アウト(112分・35mm・カラー)

COMING OUT

DEFAが唯一同性愛を正面から描いた劇映画で、ベルリンの壁が崩壊した1989年11月9日に公開。同僚女性と恋仲の若い教員が、美少年と運命的な出会いをする…。男性同性愛者の集まる実際の場所も含め、ロケーション撮影を多用。美少年役のD・クマーは本作からカーロウの助監督を務め、現在は監督として活躍。

1989(DEFA)◎ハイナー・カーロウ◎ヴォルフラム・ヴィット◎エーリカ・リヒター◎マルティン・シュレージンガー◎ゲオルク・ラツチュ◎シュテファン・カーロウ◎マティアス・フライホフ◎ダグマー・マンツェル◎テルク・クマー◎ミヒャエル・グヴィステーク◎ヴェルナー・ディッセル

22 12/18(日)4:00pm 12/22(木)3:00pm

建築家たち(107分・DCP・カラー)

DIE ARCHITEKTEN

青年建築家ダニエル(ナウマン)は、ベルリン新興地区の再開発という大役を任せられ、同世代の仲間たちとチームを組んで張り切るが、彼らのアイデアは旧態依然とした市の行政によって骨抜きにされてしまい、ダニエルの家庭にも危機が訪れる…。『壁』崩壊ははざんで製作された、ドイツの歴史的転換を象徴する作品。

1990(DEFA)◎ペーター・カハーネ◎トーマス・クナウフ◎クリストフ・プロツホフ◎アンドレアス・ケーファー◎ディーター・テール◎タマラス・カハーネ◎クルト・ナウマン◎リタ・フェルトマイヤー◎ヴェルナー・ディッセル◎ウタ・アイゾルト◎クリストフ・エンゲル



暑い夏 ©DEFA-Stiftung, Herbert Kroiss

23 12/18(日)1:00pm 12/20(水)7:00pm

〈フォルカー・ケップ選集〉

ドキュメンタリー作家フォルカー・ケップは、1974年から97年にかけて、ドイツ北東部の町ヴィットシュトックの繊維工場で働く3人の女性工員を撮影し、時代の変化や歴史的事件が庶民の日常に及ぼす影響をとらえつづけた。全7作のうち、本選集では、3人が入社一年目を振り返る第2作から、そのうちの一人エーディットが主任に昇進した第4作までをまとめて紹介する。

再び ヴィットシュトックで(23分・DCP・白黒)

WIEDER IN WITTSTOCK

1976(DEFA)◎フォルカー・ケップ◎ヴォルフガング・ガイヤー◎クリスティアン・レーマン◎マリオ・ペーター

ヴィットシュトックIII(33分・DCP・白黒)

WITTSTOCK III

1978(DEFA)◎フォルカー・ケップ◎ヴォルフガング・ガイヤー◎クリスティアン・レーマン◎ライナー・ペーム

生活と労働—ヴィットシュトックIV—

(29分・DCP・白黒)

LEBEN UND WEBEN (WITTSTOCK IV)

1981(DEFA)◎フォルカー・ケップ◎ヴォルフガング・ガイヤー◎アンネローゼ・リヒター◎クリスティアン・レーマン

24 12/16(金)3:00pm 12/25(日)1:00pm

〈DEFAアニメーション選集〉

1955年にドレスデンに創設されたDEFAアニメーション映画スタジオは、セル、人形、切り絵、影絵などさまざまな手法のアニメーション製作が可能な総合施設で、1990年までに約750本もの作品を生み出した。本選集では、カラフルな配色を巧みに物語に取りこんだ『青いネズミはどこにもいない』や、ヒトラーが1960年代の東ドイツに復活する『こんにちはは、Hさん』、手作り人形によるパラエティ・ショー『石器時代の話』、手書きボールペンによって描かれた『カフカの夢』など、手法や年代の幅に富んだ9本の短篇アニメーションを紹介する。

青いネズミはどこにもいない

(11分・DCP・カラー)

BLAUE MÄUSE GIBT ES NICHT

1957(DEFA)◎クラウス・ゲオルギ

対戦相手を倒すには(5分・DCP・白黒)

GEQNER NACH MASS

1963(DEFA)◎ブルーノ・J・ベトゲ

こんにちは、Hさん(14分・DCP・白黒)

GUTEN TAG, HERR H.

1965(DEFA)◎クラウス・ゲオルギ◎カーチャ・ゲオルギ

石器時代の話(10分・DCP・カラー)

STEINZEITLEGENDE

1965(DEFA)◎ヘルベルト・レヒナー

伝説の鳥トゥリパンを探しに

(13分・DCP・カラー)

DIE SUCHE NACH DEM VOGEL TURLIPAN

1976(DEFA)◎クルト・ヴァイラー

ちようちよのフリドリ(10分・DCP・カラー)

FRIDOLIN, DER SCHMETTERLING

1982(DEFA)◎ヘルグ・ライベルク◎アレクサンダー・ライマン

カフカの夢(8分・DCP・カラー)

KAFKAS TRAUM

1989(DEFA)◎ジークリンデ・ハーマッハー

SITIS—扉—(11分・DCP・カラー)

SITIS

1989(DEFA)◎ライナー・シャープ

お隣さんたち(5分・DCP・カラー)

IN MY NEIGHBOURHOOD

1990(DEFA)◎ガポール・シュタイジンガー

巡回上映情報

会場：福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ

会期：2017年4月1日(土)から4月23日(日)

\*休館日：月曜日、火曜日

会場：京都国立近代美術館

会期：2017年5月12日(土)、13日(日)、14日(月)

DEFA70周年 知られざる東ドイツ映画  
DEFA 70th Anniversary: Tracing the East German Cinema

月	火	水	木	金	土	日
11月	1 3:00pm 殺人者は我々の中にいる (84分)	4 3:00pm 小さなムックの物語 (100分)	7 3:00pm 裸で狼の群のなかに (124分)	10 3:00pm 冬よ さようなら (117分)	11 0:30pm 君が大人になったら、アダム (74分)	5 1:00pm ベルリン シェーンハウゼーの街角 (83分)
	2 7:00pm 臣下 (109分)	16 7:00pm パウルとパウラの伝説 (106分)	18 7:00pm 嘘つきヤコブ (100分)	21 7:00pm カミング・アウト (112分)	12 1:50-2:50pm シュテファニ・エッケルト氏講演会	12 4:00pm 45年生まれ (95分)
	3 7:00pm 臣下 (109分)	16 7:00pm パウルとパウラの伝説 (106分)	18 7:00pm 嘘つきヤコブ (100分)	21 7:00pm カミング・アウト (112分)	11 4:00pm 石の痕跡 (139分)	12 4:00pm 45年生まれ (95分)
	4 7:00pm 小さなムックの物語 (100分)	10 7:00pm 君が大人になったら、アダム (74分)	5 7:00pm ベルリン シェーンハウゼーの街角 (83分)	12 7:00pm 45年生まれ (95分)	7 4:00pm 裸で狼の群のなかに (124分)	20 4:00pm 冬よ さようなら (117分)
12月	2 3:00pm 冷たい心臓 (104分)	17 3:00pm 灰かぶり姫の三つの願い (86分)	15 3:00pm 暑い夏 (95分)	24 3:00pm DEFAアニメーション選集 (計87分)	9 1:00pm 引き裂かれた空 (114分)	23 1:00pm フォルカー・ケップ選集 (計85分)
	8 7:00pm 金のがちよう (68分)	6 7:00pm 金星ロケット発進す (94分)	19 7:00pm ソロシンガー (104分)	13 7:00pm チンガッハグークー大蛇と呼ばれた男 (91分)	14 4:00pm 僕は19歳だった (119分)	22 4:00pm 建築家たち (107分)
	19 3:00pm ソロシンガー (104分)	8 3:00pm 金のがちよう (68分)	22 3:00pm 建築家たち (107分)	2 1:00pm 冷たい心臓 (104分)	6 1:00pm 金星ロケット発進す (94分)	24 1:00pm DEFAアニメーション選集 (計85分)
	23 7:00pm フォルカー・ケップ選集 (計85分)	14 7:00pm 僕は19歳だった (119分)	9 7:00pm 引き裂かれた空 (114分)	15 4:00pm 暑い夏 (95分)	13 4:00pm チンガッハグークー大蛇と呼ばれた男 (91分)	17 4:00pm 灰かぶり姫の三つの願い (86分)
	19 3:00pm ソロシンガー (104分)	8 3:00pm 金のがちよう (68分)	22 3:00pm 建築家たち (107分)	2 1:00pm 冷たい心臓 (104分)	6 1:00pm 金星ロケット発進す (94分)	24 1:00pm DEFAアニメーション選集 (計85分)

■ 作品によって開映時間が異なりますのでご注意ください。

**講演会のお知らせ**

「DEFAの遺産 禁止映画」(仮)  
日時: 2016年12月3日(土) 1:50-2:50pm  
講演者: シュテファニ・エッケルト  
Stefanie Eckert  
(DEFA財団理事長代理, DEFA映画研究者)

パーベルスベルク・コンラート・ヴォルフ映画大学卒。DEFA 作品に関する出版、およびドイツ国内外でのDEFA特集上映に携わり、2001年よりDEFA財団の研究者として、主にDEFA 作品のデジタル化に努める。

\* 逐次通訳つき  
\* 入場無料  
\* 当日1回目の上映をご覧になった方は、そのままトークイベントに参加することができます。トークイベントのみの参加もできます。

**関連企画**

東京藝術大学大学院映像研究科オープンシアター 2016  
DEFA作品「不安」上映+特別講義  
シュテファニ・エッケルト  
日時: 2016年12月1日(土) 17:30(開場17:00)  
会場: 東京藝術大学 横浜校地馬車道校舎大視聴覚室  
お問い合わせ: opengeidai@gmail.com

展示室 (7階)

**企画展**

戦後ドイツの映画ポスター  
Postwar German Posters for Films  
2016年11月15日(土) - 2017年1月29日(日)  
\* 月曜日、12月26日(月) - 1月3日(火)は休室。

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター  
京都国立近代美術館  
後援: 駐日ドイツ連邦共和国大使館  
協力: ドイツ映画研究所(DIF)  
サントリーホールディングス株式会社  
Goethe-Institut / ドイツ文化センター

第二次大戦後、東西に分断されたドイツは、映画界も別々の道を歩むことになりました。そうした映画文化の分岐はポスターにも及び、西ドイツではアート系映画の配給会社が若手デザイナーを起用し、鮮やかなポスターが制作されました。一方東ドイツでは、独自の社会主義的な映画文化のもと、宣伝美術の枠に囚われない自在な表現が生み出されます。京都国立近代美術館との共催により、85点の作品を通じて「鉄のカーテン」の両脇で花開いた二つのグラフィズムを紹介いたします。

\* 詳細は当該チラシまたはフィルムセンターのホームページをご覧ください。

**常設展** 企画展に併設

NFCコレクションでみる  
日本映画の歴史  
Nihon Eiga: The History of Japanese Film  
From the NFC Non-film Collection  
[Captions in Japanese and English]

開室時間=午前11時-午後6時30分(入室は午後6時まで)  
料金(企画展・常設展共通)=一般210円(100円) / 大学生・シニア70円(40円) / 高校生以下及び18歳未満・障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATパスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料  
\*( )内は20名以上の団体料金です。  
\* 学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方は、証明できるものをご提示下さい。  
\* フィルムセンターが主催する上映会をご覧になった方は当日に限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

**NFC Digital Gallery** NFCデジタル展示室 Digital Gallery  
下記ホームページからお入りください  
<http://www.momat.go.jp/nc/digitalgallery>

**常設展ギャラリートーク**  
毎月第一土曜日12時より(休室の場合は第二土曜日) 12月3日

**図書室カレンダー** 赤字は休室日

11月							12月								
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日		
	1	2	3	4	5	6		1	2	3	4				
	7	8	9	10	11	12	13		5	6	7	8	9	10	11
	14	15	16	17	18	19	20		12	13	14	15	16	17	18
	21	22	23	24	25	26	27		19	20	21	22	23	24	25
	28	29	30					26	27	28	29	30	31		

図書室(4階) 開室=火曜日-土曜日(午後0時30分-午後6時30分/入室は午後6時まで) 閉室=休館日および日曜日・祝日

フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

▼交通:  
東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分  
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハロ-ダイヤル03-5777-8600  
NFCホームページ:  
<http://www.momat.go.jp/>